

令和元年(1~12月)冷凍食品の生産・消費について(速報)

一般社団法人 日本冷凍食品協会

1. 国内生産

(1) 総論

当協会調べによる令和元年(1~12月)のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が1,597,319トン(対前年比(以下、同じ)100.6%)と前年を僅かに上回り、金額(工場出荷額)は7,131億円(99.5%)と前年を僅かに下回ったが、平成29年以降連続して7,100億円台となった。

表-1

		工場数		企業数		数量		金額	
			対前年比		対前年比	(トン)	対前年比	億円)	対前年比
平成21年	2009	647	88.5%	533	88.5%	1,396,035	94.9%	6,365	95.5%
22	2010	599	92.6%	488	92.6%	1,399,703	100.3%	6,284	98.7%
23	2011	572	95.5%	463	95.5%	1,417,907	101.3%	6,300	100.3%
24	2012	523	91.4%	437	91.4%	1,476,368	104.1%	6,433	102.1%
25	2013	513	98.1%	422	98.1%	1,550,085	105.0%	6,774	105.3%
26	2014	511	99.6%	419	99.6%	1,541,891	99.5%	6,805	100.5%
27	2015	480	93.9%	416	99.3%	1,519,883	98.6%	6,870	101.0%
28	2016	476	99.2%	414	99.5%	1,554,265	102.3%	6,871	100.0%
29	2017	466	97.9%	406	97.6%	1,600,046	102.9%	7,172	104.4%
30	2018	444	95.3%	397	97.8%	1,587,008	99.2%	7,170	100.0%
令和元年	2019	438	98.6%	364	91.7%	1,597,319	100.6%	7,131	99.5%

(2) 業務用・家庭用別

業務用は、数量が903,125トン(100.4%)で増加に転じ、金額は3,970億円(99.8%)で2年連続の減少となった。

一方、家庭用は、数量が694,194トン(101.0%)で、金額は3,161億円(99.0%)となり、数量は5年連続で増加、金額は僅かながら減少となった。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ56.5%、43.5%(前年56.7%、43.3%)、金額ベースでは55.7%、44.3%(前年55.5%、44.5%)となり、数量ベースは家庭用の率がやや上昇し、金額ベースでは業務用の比率がやや上昇した。

表-2 数量

		業務用			家庭用		
		(トン)	対前年比	構成比	(トン)	対前年比	構成比
平成21年	2009	886,898	93.8%	63.5%	509,137	96.8%	36.5%
22	2010	859,342	96.9%	61.4%	540,361	106.1%	38.6%
23	2011	864,303	100.6%	61.0%	553,604	102.5%	39.0%
24	2012	894,582	103.5%	60.6%	581,786	105.1%	39.4%
25	2013	919,442	102.8%	59.3%	630,643	108.4%	40.7%
26	2014	931,972	101.4%	60.4%	609,919	96.7%	39.6%
27	2015	903,230	96.9%	59.4%	616,653	101.1%	40.6%
28	2016	917,652	101.6%	59.0%	636,613	103.2%	41.0%
29	2017	937,549	102.2%	58.6%	662,497	104.1%	41.4%
30	2018	899,772	96.0%	56.7%	687,236	103.7%	43.3%
令和元年	2019	903,125	100.4%	56.5%	694,194	101.0%	43.5%

表-3 金額

		業務用			家庭用		
		百万円)	対前年比	構成比	百万円)	対前年比	構成比
平成21年	2009	395,952	94.7%	62.2%	240,510	96.9%	37.8%
22	2010	373,427	94.3%	59.4%	254,945	106.0%	40.6%
23	2011	369,741	99.0%	58.7%	260,300	102.1%	41.3%
24	2012	374,449	101.3%	58.2%	268,844	103.3%	41.8%
25	2013	392,114	104.7%	57.9%	285,259	106.1%	42.1%
26	2014	395,547	100.9%	58.1%	284,971	99.9%	41.9%
27	2015	392,594	99.3%	57.1%	294,450	103.3%	42.9%
28	2016	398,532	101.5%	58.0%	288,528	98.0%	42.0%
29	2017	405,556	101.8%	56.6%	311,598	108.0%	43.4%
30	2018	397,633	98.0%	55.5%	319,335	102.5%	44.5%
令和元年	2019	396,961	99.8%	55.7%	316,088	99.0%	44.3%

(3) 品目別

大分類の品目別生産量では、水産物(95.3%)が引き続き減少し、北海道の原料生産が回復した農産物(103.7%)が増加したほか、国内生産の大半を占める調理食品(101.0%)が引き続き増加した。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、うどん(19,243トン増、111.1%)、ハンバーグ(5,211トン増、108.0%)、卵製品(4,544トン増、111.3%)、グラタン(4,447トン増、120.4%)などであった。

減少したのは、中華まんじゅう(8,277トン減、71.0%)、コロッケ(7,962トン減、95.4%)、カツ(6,030トン減、90.8%)などであった(但し、「うち～、その他の～」を除く)。

小分類の品目別生産量における上位20品目をみると、平成27年以降連続で1位だったコロッケをうどんが逆転し、2位がコロッケ、3位は炒飯となった。順位を上げたのは、6位から5位となったハンバーグと、8位から6位となったラーメン類などであった。中華まんじゅうが14位から19位に順位を下げた。

表-4

			水産物	農産物	畜産物	調理食品			菓子類	合計
						フライ類	フライ類以外	小計		
数量	(トン)	業務用	35,603	55,150	3,856	242,070	534,122	776,192	32,324	903,125
		家庭用	10,462	18,775	976	83,632	566,724	650,356	13,625	694,194
		合計	46,065	73,925	4,832	325,702	1,100,846	1,426,548	45,949	1,597,319
	構成比率	業務用	77.3%	74.6%	79.8%	74.3%	48.5%	54.4%	70.3%	56.5%
		家庭用	22.7%	25.4%	20.2%	25.7%	51.5%	45.6%	29.7%	43.5%
		合計	95.3%	103.7%	74.4%	91.1%	104.3%	101.0%	94.8%	100.6%
前年比	業務用	101.8%	101.7%	75.5%	87.4%	108.4%	100.8%	91.0%	100.4%	
	家庭用	78.3%	110.1%	70.4%	104.2%	100.8%	101.2%	105.2%	101.0%	
	合計	95.3%	103.7%	74.4%	91.1%	104.3%	101.0%	94.8%	100.6%	
金額	百万円)	業務用	32,201	16,179	2,107	107,521	211,567	319,088	27,386	396,961
		家庭用	9,944	7,073	745	55,118	236,527	291,645	6,681	316,088
		合計	42,145	23,252	2,852	162,639	448,094	610,733	34,067	713,049
	構成比率	業務用	76.4%	69.6%	73.9%	66.1%	47.2%	52.2%	80.4%	55.7%
		家庭用	23.6%	30.4%	26.1%	33.9%	52.8%	47.8%	19.6%	44.3%
		合計	94.7%	102.8%	81.8%	88.8%	104.7%	99.9%	97.0%	99.5%
前年比	業務用	98.1%	102.3%	88.4%	84.3%	111.1%	100.4%	95.6%	99.8%	
	家庭用	85.0%	103.8%	67.5%	99.0%	99.6%	99.5%	103.4%	99.0%	
	合計	94.7%	102.8%	81.8%	88.8%	104.7%	99.9%	97.0%	99.5%	

2. 輸入

(1) 冷凍野菜

財務省貿易統計による令和元年(1～12月)のわが国の冷凍野菜輸入量は、1,089,449トン(103.6%)と5年連続の増加となった。輸入額は、2,009億円(103.0%)と3年連続の増加となった。

輸入量が増加した主な品目としては、ポテト(13,796トン増、103.6%)、ブロッコリー(1,725トン増、103.0%)、えだまめ(1,207トン増、101.6%)などであった。

主な輸入先である中国(18,708トン増、104.0%)は総じて増加したほか、アメリカ(17,452トン増、105.5%)もポテトを中心に増加、ベトナム(4,558トン増、126.2%)も増加した。昨年、増加したオランダ(5,227トン減、85.1%)はポテトを中心に減少となった。

表-5

		数量		金額	
		トン	対前年比	百万円	対前年比
平成21年	2009	760,997	98.8%	104,698	94.2%
22	2010	829,406	109.0%	111,693	106.7%
23	2011	899,356	108.4%	120,178	107.6%
24	2012	952,041	105.9%	133,104	110.8%
25	2013	924,251	97.1%	157,210	118.1%
26	2014	907,964	98.2%	171,965	109.4%
27	2015	911,518	100.4%	187,684	109.1%
28	2016	943,211	103.5%	170,139	90.7%
29	2017	1,008,783	107.0%	187,171	110.0%
30	2018	1,051,938	104.3%	195,121	104.2%
令和元年	2019	1,089,449	103.6%	200,913	103.0%

(2)調理冷凍食品

令和元年の調理冷凍食品輸入量は、264,620トン(104.0%)、金額は1,630億円(99.3%)となり、数量は増加、金額は僅かに下回った。

輸入量を業務用と家庭用で分けると、業務用は217,043トン(101.4%)、家庭用47,577トン(118.0%)となり、金額は業務用は1,262億円(95.9%)、家庭用は367億円(113.0%)と、業務用は量が僅かに増加したが、金額は減少し、家庭用は量、金額ともに大幅に増加した。

国別輸入量では、主要な輸入先の中国(9,152トン増、107.2%)は増加したが、ベトナム(1,867トン減、80.6%)、タイ(810トン減、99.3%)が減少した。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている37社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表-6 輸入量・金額の推移

		数量		金額	
		トン	対前年比	百万円	対前年比
平成21年	2009	201,826	86.9%	91,587	82.4%
22	2010	227,618	112.8%	92,735	101.3%
23	2011	246,330	108.2%	109,048	117.6%
24	2012	273,635	111.1%	122,797	112.6%
25	2013	282,651	103.3%	142,542	116.1%
26	2014	261,237	92.4%	135,773	95.3%
27	2015	250,405	95.9%	140,866	103.8%
28	2016	230,735	92.1%	132,242	93.9%
29	2017	245,579	106.4%	153,349	116.0%
30	2018	254,353	103.6%	164,088	107.0%
令和元年	2019	264,620	104.0%	162,966	99.3%

表-7 国別の輸入量推移

		中国		タイ		その他		合計	
		トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
平成21年	2009	110,515	86.1%	75,235	85.6%	16,076	100.9%	201,826	86.9%
22	2010	137,029	124.0%	75,981	101.0%	14,608	90.9%	227,618	112.8%
23	2011	145,836	106.4%	77,372	101.8%	23,122	158.3%	246,330	108.2%
24	2012	164,087	112.5%	94,288	121.9%	2,862	12.4%	273,635	111.1%
25	2013	165,944	101.1%	101,018	107.1%	15,689	548.2%	282,651	103.3%
26	2014	147,096	88.6%	96,591	95.6%	17,550	111.9%	261,237	92.4%
27	2015	137,471	93.5%	97,851	101.3%	15,083	85.9%	250,405	95.9%
28	2016	113,456	82.5%	94,978	97.1%	22,301	147.9%	230,735	92.1%
29	2017	129,828	114.4%	105,108	110.7%	10,643	47.7%	245,579	106.4%
30	2018	127,813	98.4%	108,994	103.7%	17,546	164.9%	254,353	103.6%
令和元年	2019	136,965	107.2%	108,184	99.3%	19,471	111.0%	264,620	104.0%

3. 国内消費

当協会では、「冷凍食品国内生産量」、「冷凍野菜輸入量」及び「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

令和元年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,597,319 トンに、冷凍野菜輸入量 1,089,449 トンと、調理冷凍食品輸入量 264,620 トンを加えた 2,951,388 トン(102.0%)であった。これを総人口(126,167 千人)で割った国民1人当りの年間消費量は、23.4 キログラム(0.5 キログラム増、102.2%)となり、いずれも過去最高を記録した。また、金額ベースは1兆770億円と3年連続1兆円を上回った。

なお、前述のように調理冷凍食品の輸入については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」はこの295万トンを上回るものと考えられる。

表-8 数量

		国内生産量 (トン)	冷凍野菜 輸入量 (トン)	調理冷凍食 品輸入量 (トン)	合計 消費量)		国民1人 当り消費量 (kg)
					(トン)	対前年比(%)	
平成21年	2009	1,396,035	760,997	201,826	2,358,858	95.3	18.5
22	2010	1,399,703	829,406	227,618	2,456,727	104.1	19.2
23	2011	1,417,907	899,356	246,330	2,563,593	104.3	20.1
24	2012	1,476,368	952,041	273,635	2,702,044	105.4	21.2
25	2013	1,550,085	924,251	282,651	2,756,987	102.0	21.7
26	2014	1,541,891	907,964	261,237	2,711,092	98.3	21.3
27	2015	1,519,883	911,518	250,405	2,681,806	98.9	21.1
28	2016	1,554,265	943,211	230,735	2,728,211	101.7	21.5
29	2017	1,600,046	1,008,783	245,579	2,854,408	104.6	22.5
30	2018	1,587,008	1,051,938	254,353	2,893,299	101.4	22.9
令和元年	2019	1,597,319	1,089,449	264,620	2,951,388	102.0	23.4

表-9 金額

		国内生産額 (百万円)	冷凍野菜 輸入額 (百万円)	調理冷凍食 品輸入額 (百万円)	合計	
					(百万円)	対前年比(%)
平成21年	2009	636,462	104,698	91,587	832,747	93.7
22	2010	628,372	111,693	92,736	832,801	100.0
23	2011	630,041	120,178	109,048	859,267	103.2
24	2012	643,293	133,104	122,799	899,196	104.6
25	2013	677,373	157,210	142,542	977,125	108.7
26	2014	680,518	171,965	135,773	988,256	101.1
27	2015	687,044	187,684	140,866	1,015,594	102.8
28	2016	687,060	170,139	132,242	989,441	97.4
29	2017	717,154	187,171	153,349	1,057,674	106.9
30	2018	716,968	195,121	164,088	1,076,177	101.7
令和元年	2019	713,049	200,913	162,966	1,076,928	100.1

《別添資料》

1. 冷凍食品の国内生産及び消費
2. 品目別国内生産
3. 品目別国内生産及び構成比率と1キログラム当り金額
4. 国内生産量上位20品目(平成26～令和元年推移)
5. 冷凍野菜品目別生産国別輸入
6. 調理冷凍食品輸入
7. 調理冷凍食品輸入(平成21～令和元年推移)
8. 調理冷凍食品輸入 品目別取扱社数・国別主要品目

《問い合わせ先》

一般社団法人 日本冷凍食品協会

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目17番9号 興和日東ビル4階

担当：総務企画部企画調査課 横塚

TEL:03-3541-3003

FAX:03-3541-3012

E-mail:yokotsuka@reishokukyo.or.jp